

～博報堂DYメディアパートナーズ メディア環境研究所「スマートティーン調査報告」～

## スマホ所有の高校生、4人に1人が『初めて買った携帯電話がスマホ』と回答

- ◆高校生全体の2人に1人がスマートフォンを所有。女子で6割、男子で5割。
- ◆2012年になってからのスマートフォンの購入が6割。
- ◆アプリ数は、インストール：平均29個、利用：平均11個。有料アプリについては平均1個と少ない。
- ◆スマートフォンユーザーの1日の携帯電話によるネット利用時間は、フィーチャーフォンユーザーの3倍。

株式会社博報堂DYメディアパートナーズ メディア環境研究所(本社：東京都港区、所長：吉田弘)は、全国の高校生を対象に、スマートフォンの使用やメディア接触状況を調査した「スマートティーン調査報告」を発表します。調査結果から、高校生にスマートフォンが急速に普及しており、ソーシャルメディアの浸透と相まって、携帯電話によるネット接触時間を長時間化させ、友人関係のあり方にも大きな影響を与えていることが明らかになりました。

携帯電話の所有状況では、高校生の2人に1人がスマートフォンを所有しており、今やフィーチャーフォンを所有している高校生よりも多数派であることが分かりました。所有時期は2012年になってからの購入が約6割を占め、急激な普及が伺われます。また、「はじめて買った携帯電話がスマートフォン」と回答したスマートフォンユーザーの高校生は4人に1人に上り、スマートフォンしか携帯電話を知らないユーザー(スマホネイティブ)が登場していることが明らかになりました。

スマートフォンユーザーの高校生がインストールしているアプリ数は平均29個、うち有料アプリは1個と、ほぼ無料アプリが占めており、利用しているアプリは11個と、インストールしているアプリの半数しか利用していないことが分かりました。また、スマートフォンに対する利用態度としては、スマートフォンユーザーの高校生の2人に1人が「スマートフォンを一日中さわっている」と回答。スマートフォンが生活の中に深く根付いていることが分かります。

ソーシャルメディアの利用については、携帯電話を所有する高校生全体の約5割が「人間関係が充実した」と回答。特に、スマートフォンユーザーの高校生では約7割の回答に上りました。その一方で、携帯電話を所有する高校生全体の約4割が「人間関係がわずらわしいと感じることがある」と回答。ソーシャルメディアが高校生の友人関係に大きな影響を与えていることが伺われます。

携帯電話の1ヶ月あたりの利用料金は、スマートフォンユーザーの高校生が平均7千円、フィーチャーフォンユーザーの高校生が平均5千円。スマートフォンユーザーの高校生の方が、月額利用料がより高いことが分かります。

主要6メディア(テレビ/ラジオ/新聞/雑誌/PCネット/携帯ネット)の一日あたりの接触時間は約400分。フィーチャーフォンユーザーの高校生よりもスマートフォンユーザーの高校生の方が「携帯ネット」の接触時間が長く、男子よりも女子の方が長い傾向にあることが明らかになりました。

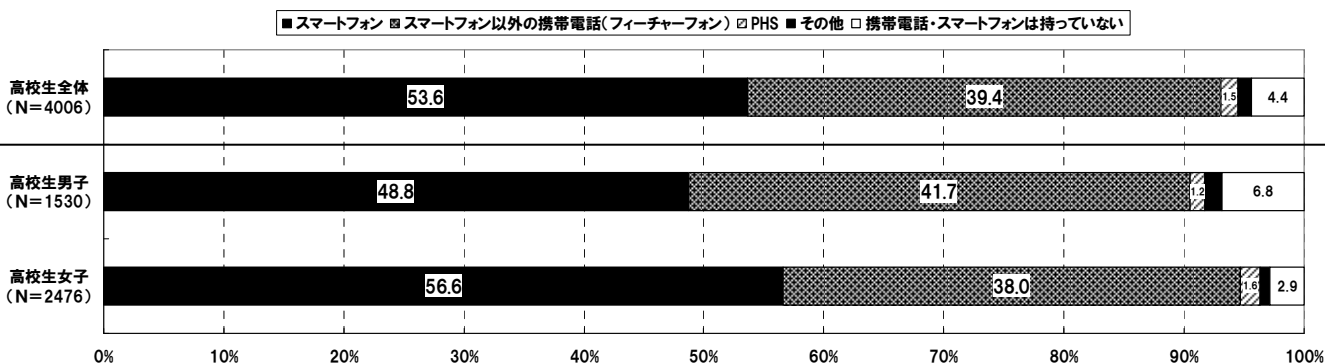
メディア環境研究所では、今後もメディア環境変化を調査し、次世代広告の兆しを発見することで、コミュニケーションのプランニング力とメディア効果を高めることにチャレンジしていきます。

メディア環境研究所ホームページ <http://www.media-kankyo.jp/>

## <調査結果詳細>

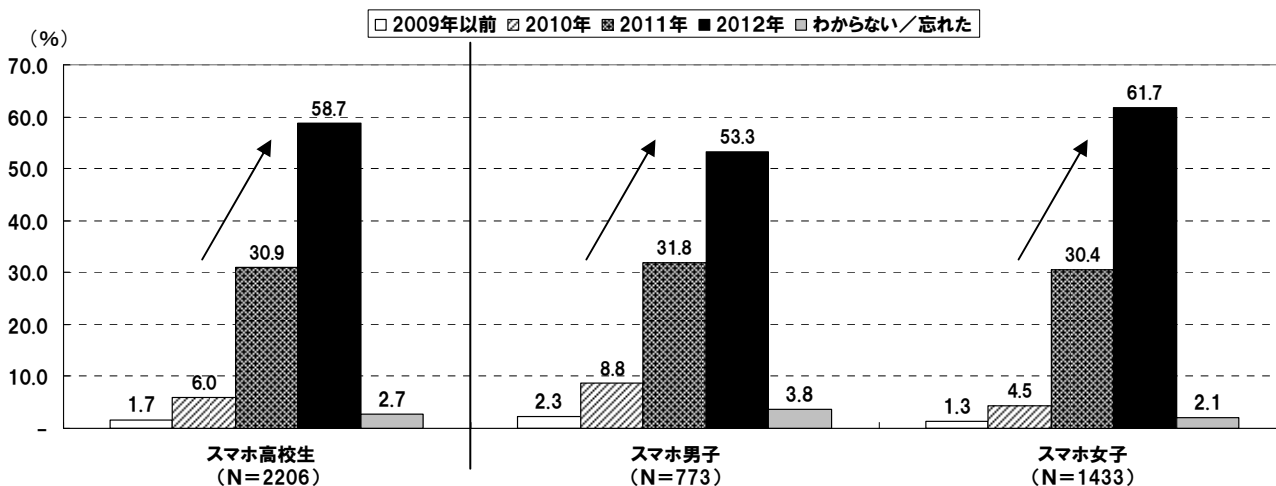
### ■ スマートフォン所有状況 ※スクリーニング調査より

- 全体の約半数がスマートフォンを所有している。女子は57%、男子は49%と、女子の方が男子よりも普及が進んでいる。



### ■ スマートフォン所有時期 ※スクリーニング調査より

- スマートフォン所有者がスマートフォンを購入したタイミングは、2012年になってからの購入が男女ともにボリュームゾーンで5~6割。2011年の購入者数から倍増している。



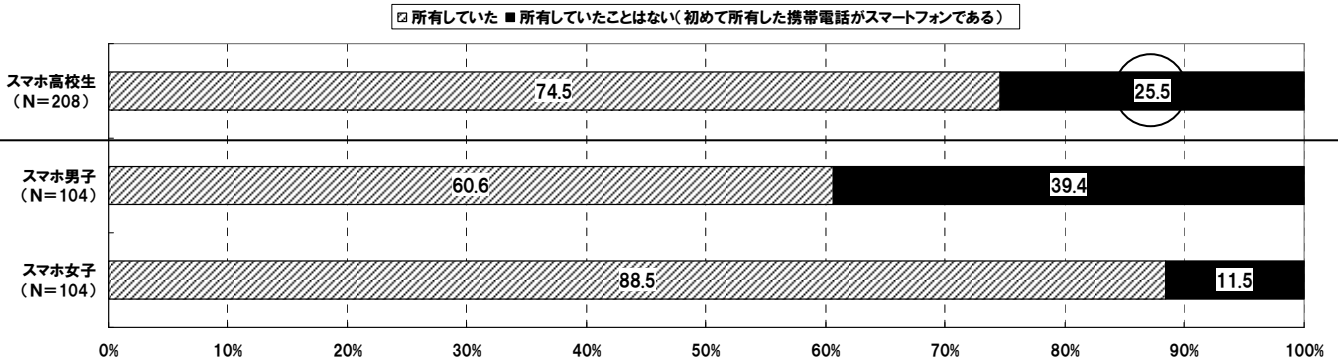
#### ※スクリーニング調査

実際の調査を行う前に、母集団の中から、特定の条件に合致するサンプルを抽出するために行われる調査。本件調査におけるスクリーニング調査では、全国の高中生19,669名(男子9,669名、女子10,000名)に調査票を配信し、そのうち4,006名(男子1,530名、女子2,476名)から回答を得た。

### ■ スマートフォンを所有する前のフィーチャーフォンの所有有無

- スマートフォンを所有する高校生の全体の4人に1人(25.5%)が「はじめて所有した携帯電話がスマートフォン」と回答。特に、男子では約4割の回答に上る。

Q:あなたは、スマートフォンを所有する前に、普通の携帯電話(フィーチャーフォン)を所有していましたか？(単数回答)



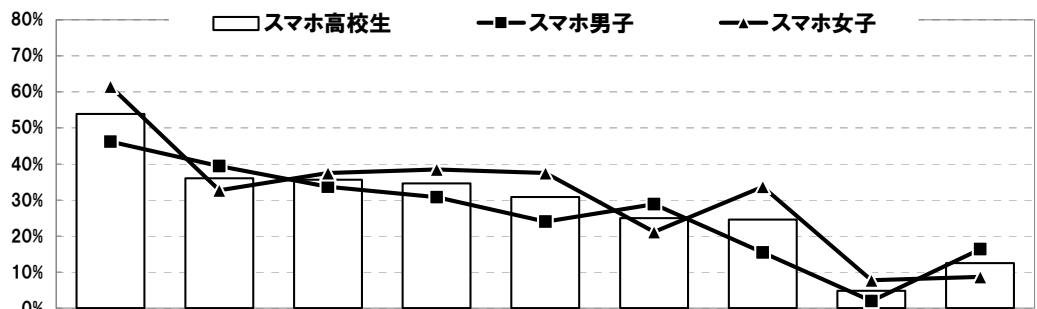
### ■ スマートフォンを所有する高校生の利用アプリ数

- インストール数は平均29個、利用アプリ数は平均11個。有料アプリについては平均1個と利用が少ない。

平均インストール数	28.8個
	スマホ男子:31.7個 スマホ女子:26.1個
平均利用アプリ数	11.2個
	スマホ男子:11.7個 スマホ女子:10.7個
平均有料アプリ数	0.9個
	スマホ男子:1.6個 スマホ女子:0.3個

### ■ スマートフォンに対する利用態度

- 全体の2人に1人が「スマートフォンを1日中さわっている」と回答。特に女子からは「目が疲れる」「睡眠時間が少なくなった」といった声も挙がっている。



		n=	スマートフォンを1日中さわっているほうだ	世の中で起きているニュースはだいたいスマートフォンでわかる	スマートフォンのアプリをフォルダ分けしてカスタマイズして使っている	スマートフォンは最大の娯楽であると思う	スマートフォンを利用するようになって、目が疲れるようになった	スマートフォンの予備バッテリーをいつも持ち歩いている	スマートフォンを利用するようになって、睡眠時間が少なくなった	スマートフォンのアプリがきっかけで恋愛がはじまったことがある	あてはまるものはない
	スマホ高校生	(208)	53.8	36.1	35.6	34.6	30.8	25.0	24.5	4.8	12.5
性別	スマホ男子	(104)	46.2	39.4	33.7	30.8	24.0	28.8	15.4	1.9	16.3
	スマホ女子	(104)	61.5	32.7	37.5	38.5	37.5	21.2	33.7	7.7	8.7

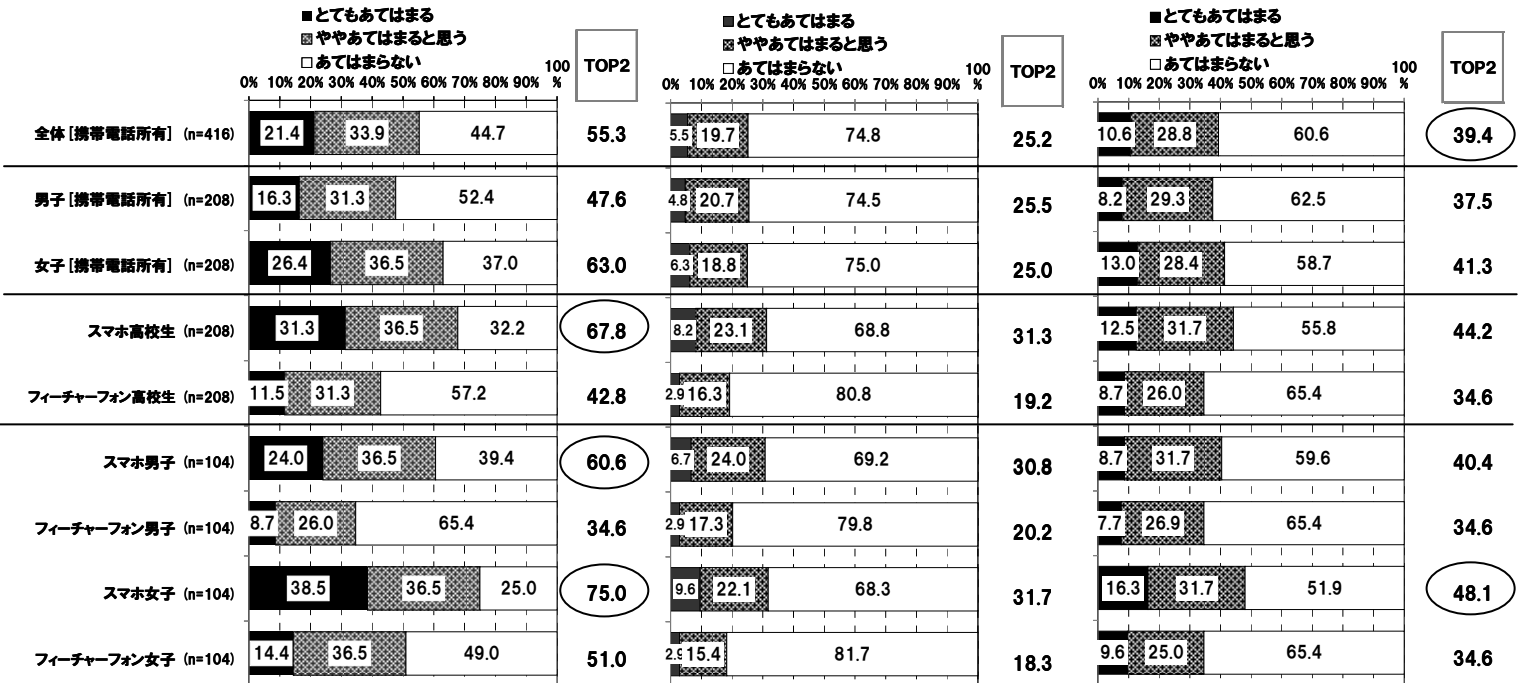
## ■ ソーシャルメディアの利用態度

- 半数以上が「人間関係が充実した」と感じており、特にスマートフォン保有者で約7割と顕著。その一方で、全体の4割が「人間関係がわずらわしい」と感じることもあると回答。

ソーシャルメディアを使うようになって、人間関係が充実していると  
感じるようになった

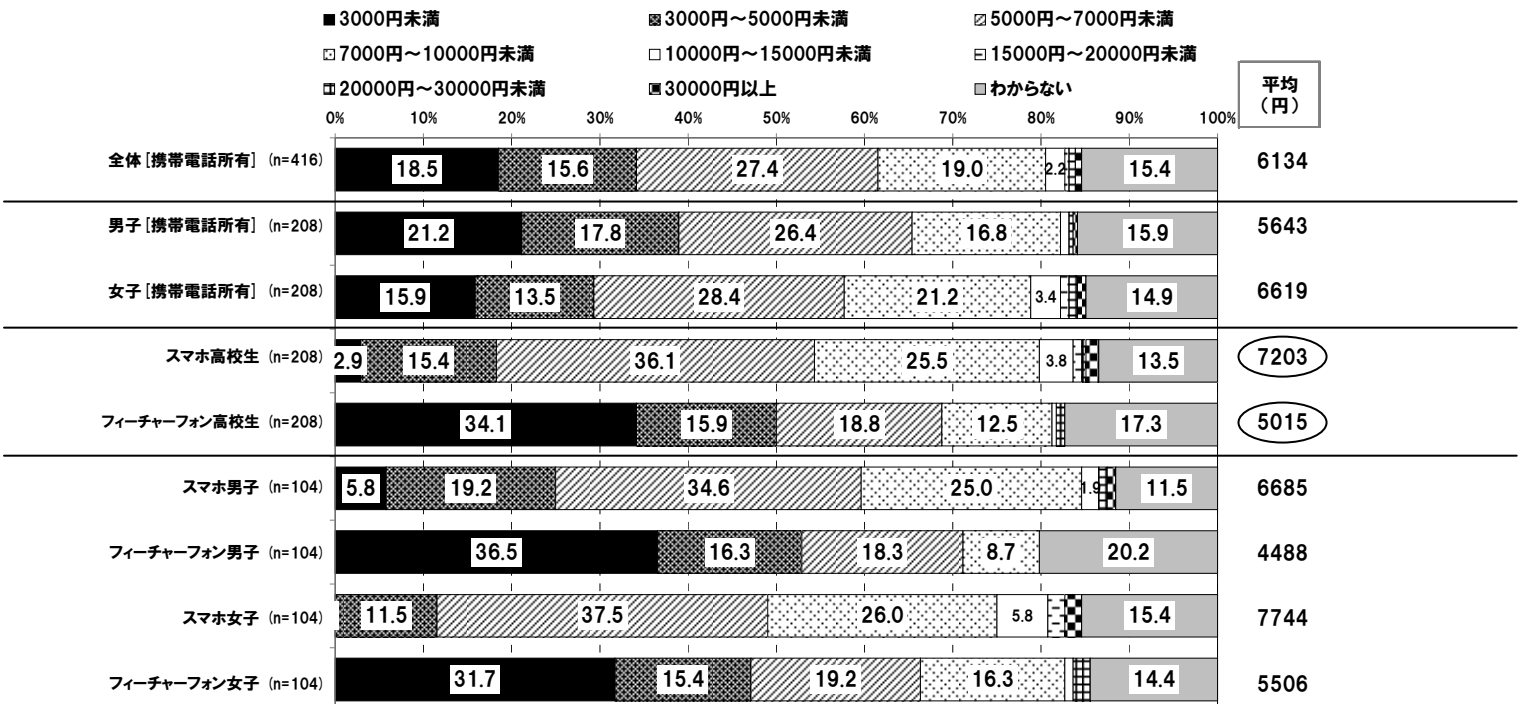
ソーシャルメディアで  
いつも友達とつながっていないと  
不安である

ソーシャルメディアを使うことで  
人間関係がわずらわしく感じる  
ことがある



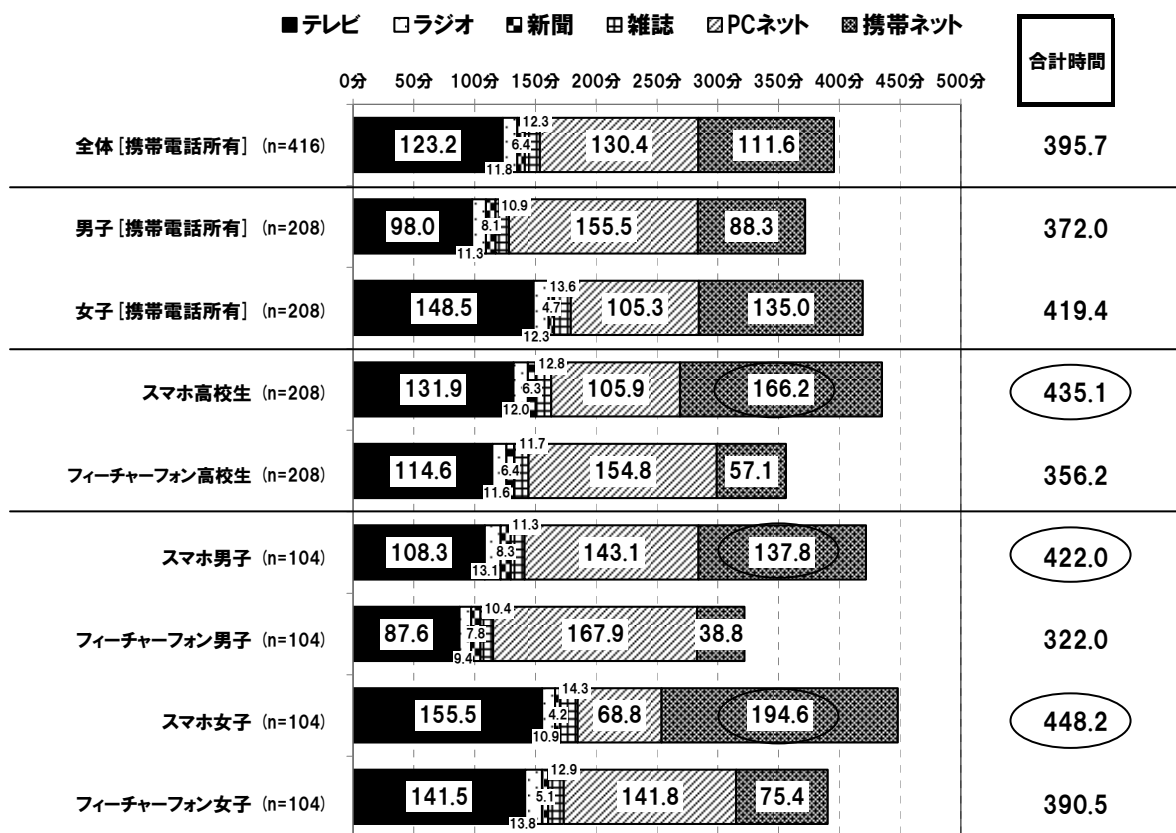
## ■ 1ヶ月の携帯電話利用料金

- 平均約6千円。男女ともに、フィーチャーフォンを所有する高校生に比べ、スマートフォンを所有する高校生の方が平均2千円程度高い。



■ 主要6メディアの一日の接触時間（週平均、単位：分）

- 総接触時間は、フィーチャーフォンを所有する高校生よりスマートフォンを所有する高校生のほうが長く、男子より女子のほうが長い。また、スマートフォンを所有する高校生のほうが、「携帯ネット」の接触時間が長い。



■ 「スマートティーン調査」概要

- ・ 調査目的 : 高校生のスマートフォン使用実態の把握
- ・ 調査地域 : 全国
- ・ 調査対象者 : 携帯電話を所有している、高校1年生～3年生の男女
- ・ 調査実施期間 : 2012年11月7日(水)～12日(月)
- ・ サンプル数 : 416名 (男子208名、女子208名)

		高校1年生	高校2年生	高校3年生	計
スマートフォン	男子	34	34	36	104
	女子	34	34	36	104
フィーチャーフォン	男子	34	34	36	104
	女子	34	34	36	104

- ・ 調査手法 : インターネットリサーチ

■ 本件に関するお問い合わせ先

株式会社博報堂DYメディアパートナーズ 広報グループ 西原・山崎 03-6441-9347  
 メディア環境研究所 中杉 03-6441-9713